

4 事業内容

(1) 公開フォーラム

「地域における支え合い事業」の皮切りに、5つのモデル地域で目指す目標などについて、「公開フォーラム」で発表しました。

開催日時 2012年（平成24年）5月29日（火）PM1:30～4:00

開催場所 ワークライフプラザ れある 大会議室

参加者 市町村関係15名、地域包括支援センター等19名、社協12名

協同組合6名、住民組織3名、NPO等民間組織13名、ボランティア等20名

愛知県8名、コープあいち24名

総計 70組織 120名

公開フォーラムでめざしたこと

- 1, 本事業のミッションを共有する。
- 2, 参加者で共通認識を形成し、本事業のすすめ方を補強する。
- 3, それぞれの経験や課題に学ぶ。

内容 地域における支え合い事業の概要説明

- 各地域の現状と、このモデル事業でめざしたいこと
- 地域における新しい支え合いをどうすすめるか意見交換

(2) 全体会

① 全体会でめざしたこと

- 1, モデル地域の活動事例報告・交流、新しい取組検証
- 2, モデル地域の活動を支援する情報システムなどの支援組み立て
- 3, 各種調査・先進事例調査の検討

② 全体会の開催概要

第1回全体会 6/29（金） 名古屋市総合 社会福祉会館	22グループ組織 40名	・5/29 公開フォーラムのまとめと報告集発行の検討 ・名古屋3地域の第1回地域会議の報告 ・三河2地域の準備状況の報告 ・モデル事業の目標・年間計画・四半期の重点検討
第2回全体会 10/5（金） ワークライフプラザ れある	26グループ組織 46名	・課題解決への具体化→3つの角度から分科会 1) 制度の谷間にある人々への支援 2) 顔の見える関係での相互のネットワーク構築 3) 地域のインフォーマルな情報共有の仕組み ・情報共有ウェブサイト運用を確認
第3回全体会 12/7（金） 名古屋国際セ ンター	22グループ組織 36名	・モデル地域の進捗評価と今後の計画・展望の協議 ・森の里団地自治会活動見学交流会および 知多半島NPO法人等の見学交流会の実施確認 ・モデル事業まとめの公開第4回全体会の開催計画
第4回全体会 3/14（金） 愛知大学	80グループ組織 134名	・5つのモデル地域からの報告交流 ・ロードマップ（報告書）案の紹介 ・モデル事業をどう継続していくか

③ 地域支え合いを促進する情報ネットワークの構築

ア、情報ネットワークの構築

○コ ープあいちホームページへの「地域支え合いブログ」の構築

地域における支え合い事業の参加団体（参加者）の情報発信と共有化のために、ブログ<<http://www.coop-aichi.jp/sasaeai/>>を立ち上げました。地域会議や全体会の報告、交流会や見学会の開催案内が投稿されました。

イ、情報ネットワークの必要性

○地域で困っている人・支え合いが必要な人の「情報」

- ・「困っている人」を中心にした、地域での信頼関係やつながりをベースにしないと「情報」は見えてこない。
- ・まわりが「情報」を察知する力も大切である。
- ・気軽に集まっておしゃべりできる場に「情報」は集まる。
- ・「情報」の解決方法を提案できる専門家の力が安心感をつくりだす。

○地域で支え合いの活動をする人々の「情報」交流

- 「情報」は問題の解決事例の共有化によって、同じような事例の解決の糧とするため
- 自分の団体だけでは解決できない事例をネットワークで解決できないか投げかける場
- 地域で活動する人々が交流する場

ウ、今後の課題

今後、「地域支え合いブログ」を継続的に活用していくために、以下の課題について話し合っていきます。

- 関係団体ごとのIT環境の違い
- ブログの活用方法や管理・運営についての役割分担
- ブログで取り扱う情報の種類と内容

5 各地域会議の目標・活動内容等

(1) 千種区・本山地域会議

① 地域会議の目標

- ア. 住民、社会福祉協議会、行政、生協等のお互いに顔の見える関係をつくります。
- イ. 制度の谷間にあるニーズを掘り起こし、その解決の方策を検討します。
- ウ. コープあいち「困りごと相談窓口」の地域活用の可能性と方策を検討します。
- エ. 地域での困りごとを解決する幅広いネットワークの仕組みを検討します。

② 活動内容

- ア. 公的機関及び協同組合関連の地域資源を掲載した地域支え合いマップの作成と、支援

- ネットワークへの配布、支え合い交流会の開催による、活用促進
- イ. コープ相談センターによる地域住民からの相談受け付け
- ウ. 生協組合員、配食利用者の困りごとアンケート

③ 今後の課題

- ア. 生協生活文化会館二階を活用した、多世代共生型空間（子どもからお年寄りまで、さまざまな世代が気軽に利用できる場）づくりの検討

(2) 守山区・小幡地域会議

① 地域会議の目標

- ア. 気軽に相談できる場、見守りの場の広がりを目指します
- イ. 住民主体のたすけ合い・見守り活動を広げ、担い手づくりをすすめます
- ウ. 様々な活動グループ、事業組織の横のつながりの場づくりをめざします

② 活動内容

- ア. コープ小幡店を拠点にした寺子屋及びいっぷく茶屋の「場」（地域の関係性と日常の相談をキャッチしつなぐ窓口）の再評価
- イ. 見守りサポーターの登録と地域見守りマップの作成、住民への配布

③ 今後の課題

- ア. 出前“いっぷく茶屋”などによるふれあいの場の広がり
- イ. 地域の住民組織、事業組織との横のつながりの場（地域会議の継続）
- ウ. コープ小幡店を活かした、住民の買い物支援
- エ. おばた見守りそくしん隊など身近な見守り活動の広がり

3) 緑区・大高地域会議

① 地域会議の目標

- ア. 公営住宅自治会、医療生協、社会福祉法人、地域包括支援センター、地域生協等と社協による地域課題のキャッチと生活支援の協働活動の促進

② 協働事例

- ア. 災害に備えた学習と生協病院での訓練
- イ. 団地自治会との懇談
- ウ. 中学生の認知症サポーター講座
- エ. 団地住民の生活課題アンケート
- オ. 各団体の地域支え合い事例の共有

③ 今後の協働テーマ

- ア. コープあいち移動販売車の拠点ルート開発
- イ. 南医療生協の地域支え合いシートに参画する、地域協働の支え合い資源
- ウ. 新興住宅地の子育て支援ネットワーク
- エ. 定年後男性の支え合い参加の場
- オ. 困りごとの相談連携

(4) 豊橋市・舟原町地域会議

① 地域会議の目標

1. 地域包括支援センター（コープあいち受託）による、舟原町自治会、舟原町老人会（喜楽会）の支え合い支援

② 舟原町マイタウンの具体化

1. 三本木町たすけあい活動の学習
2. 地域サポーターの登録

③ 協働事例

1. 舟原町地域サポーター
2. 舟原町公民館の講座の活性化
3. 全270世帯の生活課題に応える地域支え合い力づくり（外出支援など）

(5) 奥三河地域会議

① 地域会議の目標

1. 行政、社協、地域包括支援センター、農協、生協、社会福祉法人、NPO等による、「住民の生活課題」と「支え合いの制度や資源」の共有化

② 設楽福祉村の地域交流センターを活用した住民参加の拠点づくり

1. 生協商品の受け取り
2. 農協や商店等含む食品や生活用品
3. 住民ボランティアや交流サロン
4. 障がい者の働く場

③ 居場所づくり（地域支え合い資源の活用と開発）

1. 農協の遊休施設の拠点活用
2. 自治会の集会所の拠点活用
3. 有償ボランティア等担い手
4. 定期的な見守り